



## 夏休みコンクールのお知らせ

夏休み後、たくさんのコンクールの応募があります。お子さんと相談の上、興味があるものがありましたら、作品作りにぜひ取り組ませていただきたいと思います。夏休みの自由課題として、取り組むこともできます。(各コンクールの応募締切によっては、教室での作品展示が、写真やコピーになる場合があります。)

応募作品については、**3月25日(火)**までに担任への提出をお願いします。(出品料が必要な場合は、出品料も合わせて提出してください。)

### 【国語関係のコンクール】

①新大全国競書大会(毛筆)・・・出品料 300円が必要

※学校印を左側上部に担任が押しますので、左側に姓名を書いてください。

②新大全国硬筆大会(硬筆)・・・出品料 300円が必要

※学校印を左側上部に担任が押します。

③新潟県競書大会(毛筆)・・・出品料 300円が必要

※学校印を左側上部に担任が押しますので、左側に姓名を書いてください。

④新潟県競書大会(硬筆)〈1・2年のみ〉・・・出品料 300円が必要

※学校印を左側上部に担任が押します。

⑤「ごはん・お米とわたし」作文コンクール

○ 毎日のご飯でおいしかったことや家族とのコミュニケーションやお米・ごはんに関する思い出や考えたことなどを素直な思いで自由に表現してください。

○ 1～3年生は800字以内

(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

4～6年生は1200字以内

(400字詰め原稿用紙3枚以内)

○ 1枚目の原稿用紙の1行目に題名、2行目に学校名・学年・氏名、3行目から本文を書き出す。

○ 全員に参加賞あり。

\* 作品は返却されません。



## 【図工関係のコンクール】 詳細はコンクール主催者のホームページを参照してください。

※絵画作品には必ず学年と名前をはっきり書いてください

### ①「ゆうちょアイデア貯金箱」コンクール（ゆうちょ銀行）

【テーマ】身近な素材を使った世界に一つだけのアイデア貯金箱

【きまり】材料は自由。持ち運びできるもの。  
大きさは、一辺の長さが25cm以内とする。

【応募について】

校内審査を行い、学校代表作品に該当するものを各学年ごとに1作品選出して応募する。全員に参加賞あり。

<注意すること：次のような作品は審査対象外となります>

- ・本やネットに載っている作品をマネした作品
- ・市販されている工作キットを使用した作品
- ・マンガやアニメのキャラクター、スポーツチームやブランドのマークを使用した作品

### ②「ごはん・お米とわたし」図画のコンクール（JAグループ）

【テーマ】「ごはん・お米」

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関する思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現する。

【きまり】B3判（36.4センチ×51.5センチ）相当の市販画用紙、または四つ切り市販画用紙。クレヨン、水彩など自由に使ってよい。

【応募について】

1～3年生の部、4～6年生の部。全員に参加賞あり。

※ポスター形式（標語・キャッチフレーズ等文字の入ったもの）は応募できません。

※作品は返却されません。

### ③「ドコモ未来ミュージアム」絵画コンクール（NTT docomo）

【テーマ】「僕たち私たちの未来の暮らし」をテーマに描いた絵画

【きまり】はがきサイズ～四つ切までの画用紙。絵の具やクレヨン等画材は自由です。

【応募について】

小学校1・2年の部、3・4年の部、5・6年の部。全員に参加賞あり。

※応募を希望する人は、児童玄関に置いてあるパンフレットを持ち帰り、応募シートを記入し作品の裏に貼って提出してください。

※作品は返却されません。

※タブレットでの作品など、デジタル作品はドコモのホームページから個人で応募できます。（学校では扱いません）

### ④「明るい選挙啓発ポスター」コンクール（公益財団法人 明るい選挙推進協会）

【テーマ】明るい選挙を呼び掛けることを内容に、自由に表現する。

\* 日常の経験をもとに描く。 \* 選挙の場面から考えて描く。

\* 言葉と絵柄の組み合わせを工夫して描く。

例えば、「明るい選挙」「大事なみんなの一ぴょう」など

★自分が大人になったとき、どんな社会になってほしいか、考えてみよう！

★身近な大人に選挙や投票について意見を聞いてみよう！

【きまり】描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限らない。）

画用紙の四つ切り、八つ切りもしくはそれに準じる大きさ

【応募について】

小学生児童 全員に参加賞あり。 ※作品は返却されません。

夏休みにこの中から何か1つ挑戦してみましよう。自分の力を試すよい機会です。  
挑戦できる人はたくさん挑戦してみてください。